

中長期目標(学校ビジョン)	今年度の重点目標
<p>1. 鳥取県内有数の進学校としての地位の確立</p> <p>①国公立大学・難関私大現役合格率6割以上確保 (すべての生徒が妥協せず本当に行きたい大学に進学する)</p> <p>②進研模試、校外模試において学年平均偏差値60以上確保 (偏差値70以上の生徒3名以上)</p> <p>③各種検定の規定級以上を全生徒が取得する。</p> <p>2. 「学力面で優れた生徒＝人格的にも優れた生徒」 という湯梨浜学園の生徒像確立</p>	<p>1. 学習指導の充実と進路指導の強化</p> <p>◇国公立・難関私大合格15名以上を目指す。うち、国公立準難関大学以上合格5名以上の合格を目指す。</p> <p>◇中学部各学年、学力推移における各教科及び3教科総合全国偏差値平均を4月（中1英は10月）の学力推移を基準として5ポイントアップ、偏差値平均50以上、偏差値60以上3名以上の実現。高校部各学年、校外模試における各教科及び総合全国偏差値平均を7月の進研模試を基準として3ポイントアップの実現と維持。</p> <p>◇各種検定取得率アップを目指す。規定級を超える生徒数の増加を目指す。</p> <p>◇速読講座、スタディサブリ、個別講座など多様な補習体制で生徒の弱点克服を目指す</p> <p>2. 学校運営の充実と教育環境の整備</p> <p>◇各分掌の活動を充実させ、PTAとの連携、地域との交流を図りながら、校務が機能的に運営されることを目指す。</p> <p>◇学校通信、学級通信など各種広報紙の定期的発行、HPやFB、BLENDなどの情報提供迅速化、頻繁な更新に努める。</p> <p>3. 生徒指導の徹底と教育相談の充実</p> <p>◇「あいさつ」「返事」「掃除」「服装」を指導の4つの柱に据え、規範意識を高めて、社会に必要とされる人間形成に努める。</p> <p>◇適宜個別面談などを通し、生徒理解に努め、教育相談、スクールカウンセラーとの連携で悩みの解決や相談にあたる。</p> <p>4. 人権教育の推進</p> <p>◇あらゆる場面、あらゆる教科で、すべての先生が人権教育視点に立った教育を行う。</p> <p>◇いじめのない学校をめざす</p>

評価は S(達成) A(ほぼ達成) B(あと一步) C(未達成) です。

評価項目	具体的項目	中間評価	達成状況(年度末)と次年度の課題	
1. 学習指導の充実と進路指導の強化	国公立・難関私大合格15名以上		高校3年生21名が国内外を問わず、それぞれの思い描く進路へと巣立っていったが、今年度はコロナ感染拡大の影響もあり、国公立・難関私大への進学よりも地方の個性を生かした大学への進学希望が多かった。	B
	校外模試における数値目標達成	B	全体として7月進研模試と比較して学園平均3.2ポイントアップとなった。各学年によって成績の伸長に差が見られる。	A
	各種検定取得率アップ	A	昨年度と比較して、大幅に既定級取得者の増加が見られた。次年度は上位級へ挑戦する生徒への支援も手厚くしたい。	S
2. 学校運営の充実と教育環境の整備	各分掌活動の充実、PTAとの連携、地域との交流を図る	B	コロナ禍で自粛や三密回避が主流となっている中で、PTA活動を満足にすることができなかった。しかし次年度はより工夫を凝らし、本校独自の取り組みにより、活発にしていきたい。	B
	HP、FB、Blendなどでの積極的情報提供	A	HP、FB、Blendだけでなく、Zoom、Webex、You Tubeとさまざまな媒体を使った情報提供ができたと感じる。次年度はHPをどのような端末でも見やすい環境を整えたい。	S
3. 生活指導の徹底と教育相談の充実	生徒指導の3つの柱を、教職員間でのブレなく徹底する	A	挨拶、掃除、返事の徹底をすることはできたが、マスクをつけている状況が当たり前となり、生徒の顔色を含めた様子を観察することが困難であった。	A
	生徒との教育相談の機会を充実させ、自己肯定感を醸成する	B	生徒面談・保護者面談を通じて、生徒や保護者の悩みを聞いていたが、特に中学において、対応が遅くなった事例があった。次年度は報・連・相・動を徹底する。	B
4. 人権教育の推進	学校生活でのあらゆる場面で、人権教育的視点にたつ	B	生徒・保護者アンケートにおいて目立った意見はなかった。コロナ禍の中、外部研修をすることはできなかったが、校内研修を実施しスキルアップに努めた。	A
	いじめアンケート、ケース会議を実施し、生徒の心の動きを敏感に察知する取り組みを設ける	A	年2回のいじめアンケート・体罰調査アンケート、年度末の生徒学校評価アンケート、保護者学校評価アンケートを実施した。また学期ごとのケース会議も滞りなく実施できた。	A